

【ほぼ日】海外直販が好調です。 2/1からは「ほぼ日手帳」4月はじまり版も発売開始！

株式会社ほぼ日（東京都千代田区、代表取締役社長：糸井重里）では現在、主力商品の「ほぼ日手帳2021」が、海外（主にアジア・北中米）で前年を上回る勢いで好調に推移しています。2021年2月1日からは「ほぼ日手帳2021 spring」（4月はじまり版）を発売。全国のロフトのほか、公式ネットショップ「ほぼ日ストア」でも発売します。「ほぼ日手帳」について、詳しくは下記URLも併せてご覧ください。

<https://www.1101.com/store/techo/> ほぼ日手帳公式サイト（日本語）

<https://www.1101.com/store/techo/en/> ほぼ日手帳公式サイト（英語）

https://hobonichiglobal.tmall.hk/shop/view_shop.htm 天猫国際内の hobonichi 海外旗艦店（公式）



【海外直販で人気の「ほぼ日手帳」】（2020年9月～2021年1月集計分）

○公式ネットショップ「ほぼ日ストア」調べ、海外BtoCについて

- ・自分の5年間を1冊に詰め込むことができる「ほぼ日5年手帳」が大変好評で、前年比2.4倍と伸ばしています。
- ・手帳本体では「月間カレンダー＋方眼メモ」仕様の、月間ノート手帳「day-free（デイフリー）」が人気です。
- ・ポケットに入るサイズの週間手帳weeksシリーズでは、植物学者の牧野富太郎博士が1888年に描いた、ジョウロウホトトギスの植物図を手帳の表紙に印刷したものが支持を集めています。

○中国（天猫国際 hobonichi 海外旗艦店）

- ・諸外国のユーザーと同じく、たっぷり書き込むことができる月間ノート手帳「day-free」が、特に人気を集めています。気軽に始められて、持ち歩きやすい薄手の手帳であることも人気の理由のひとつです。
- ・週間手帳weeksシリーズでは、ネクタイ生地を使った「タイ&チーフ ツバメ」のラインナップが好評。新しい年から使い始める手帳ということもあり、中国で縁起がいいとされているツバメモチーフの手帳は、特に注目を集めました。



左から：ほぼ日5年手帳（税込4,180円／1月はじまり版のみ）、月間ノート手帳 day-free オリジナルサイズ・A6（税込1,650円／1月はじまり版のみ）、ほぼ日手帳weeks「ジョウロウホトトギス」（税込2,640円）「タイ&チーフ ツバメ」（税込2,200円）
※週間手帳タイプの「ほぼ日手帳weeks」は、2021年2月1日より4月はじまり版を販売予定。

【2月1日より、海外でも直販を開始する注目アイテム】 スマホや週間手帳などを持ち歩けるケース「mokku」（モック）



週間タイプのほぼ日手帳 weeks、weeks MEGAにぴったりサイズの、気軽に持ち歩けるケース「mokku（モック）」が、2021年2月1日に登場します。mokkuは、手帳と一緒にペンやふせん、マスキングテープなどの文房具を持ち歩けるのはもちろん、スマートフォンや小銭入れなどもひとまとめにできて、とても便利です。必要な文房具をまとめて学校に、手帳を書くときの小物を入れて家の机の上に……など、1日を通してさまざまなシーンで使える、うれしいケース。3色の展開です。○商品名：weeks ケース mokku（モック）○価格：税込1,980円○発売日：2021年2月1日○販売：公式ネットショップ「ほぼ日ストア」https://www.1101.com/store/techo/ja/2021/pc/detail_toolstoys/tt_weeksmokku/ その他、東急ハンズ、ロフトの一部店舗でも取扱予定です。詳しくはご来店前に最寄りの店舗へお問い合わせいただけますよう、お願いいたします。

●本件についての取材申込、お問合せ先：株式会社ほぼ日 担当：木下（奈） press@1101.com 電話：03-5422-3801
※本リリースの画像は、こちらからダウンロードいただけます。 <https://1101.jp/3aiHIJQ>